

大淀町

大淀町が目指す子育て環境

未来に向けて安心して子どもを生み健やかに育てる夢のあるまちづくりを基本理念とし、子どもが人間として大切にされ、健やかに成長する環境を家庭、地域社会、事業主、行政など社会全体の連帯で作ります。

1 基本データ <県記載>

・順位は県内市町村の降順
・カッコ書きは県全体の数値

①人口増減率（H11年4月～H30年12月・約20年間）					
増減率	順位	うち自然増減		うち社会増減	
		増減率	順位	増減率	順位
▲15.0% (▲6.2%)	19位	▲8.4% (▲2.1%)	21位	▲6.6% (▲4.1%)	15位
②合計特殊出生率			③有配偶出生率		
H20～24年（年率）	順位	対H15～19年（年率）増減	(15～49歳女性有配偶者1,000人あたりの出生数)		
			H27年		順位
1.22 (1.29)	27位	▲0.02 (+0.06)	45.3 (74.4)	36位	
④出生数（人）		⑤年少人口割合（15歳未満）			
H30年	H30年10月	順位	対25年10月増減		
82 (8,947)	10.3% (12.0%)	18位	▲1.8 [※] ｲﾄ (▲0.7 [※] ｲﾄ)		
⑥子育て世代割合（25～44歳）					
H30年10月	順位	対25年10月増減			
18.7% (20.7%)	18位	▲3.8 [※] ｲﾄ (▲3.8 [※] ｲﾄ)			

2 子育て家庭の現状と支援に関する課題

- ① 子育て世代の減少傾向はあるものの保育（学童保育）のニーズは多様化しており、保育（学童保育）の充実により働く世代を支える取り組みを行う。
- ② 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援をおこなうため、妊婦への顔の見える関係づくりや親子に関わる関係機関のネットワークづくり、子育てを地域で支える町づくりを進めていく。

3 子育て家庭への支援に関する基本的な考え方（目指していること）

- ① 地域における子育ての支援の充実を図る。
- ② 親と子の健康の確保及び増進を図る。
- ③ 子どもの成長に資する教育環境の整備を行う。
- ④ 子育てを支援する生活環境の整備を行う。
- ⑤ 仕事と生活の調和の促進を図る。
- ⑥ 子どもの人権擁護と要保護児童への対応の充実を図る。

4 子育て家庭への支援に関する特徴的な取組

公立、民間の保育所が4園、民間のこども園が1園あり待機児童が発生しないよう定員を確保している。又園庭開放や公立の家庭支援推進保育士4名の配置、子育て支援センターの設置などで未就園児への子育て支援も充実している。

5 多様な主体による子育て支援の取組

児童虐待の深刻化に対して、本町では専任の家庭相談員を3名配置し、要保護対策地域協議会を軸に、特に虐待の未然防止の課題について取組みを充実させてきた。

①保健センターと妊婦支援検討会を開催し、町内全妊婦の状態把握を行い、妊婦期からの未然防止に取り組んでいる。②DV対応では元警察官の相談員が警察と日常的に連絡を取り合い素早く連携が図れるようになっている③従前は虐待対応を関係機関に依頼することが多かったが、相談員が増えたことにより町要対協事務局が直接対応する事案が増え、よりリアルに現状把握ができるようになり、適格な対応ができるようになった。

詳しくは 大淀町ホームページ <http://www.town.oyodo.lg.jp/>